

## 担い手づくり部門（ア）

長野県御代田町 有限会社トッピーバー  
（代表取締役：嶋崎<sup>しまざき</sup> 秀樹<sup>ひでき</sup> 氏）



○ 作付面積：260.9ha（レタス、キャベツ等）

（注）数字は平成30年当時のもの

## 経営展開のポイント

- ・ 「農業100年の計は人材育成にあり」を経営理念に掲げ、農業経営者を志す若者を3～6年教育して卒業生を全国各地に輩出し、地域農業の核として活躍する人材の育成を実践する平成12年設立の農業法人。
- ・ 御代田町と富士見町の農場でレタスやキャベツなどを生産、経営面積は長野県内で最大規模で、契約栽培などによって高い収益性を確保。
- ・ 就農希望者を正社員として雇用し、農業技術だけでなく時代にあった農業経営やマネジメントを実践する人材育成を展開。人材育成は、各関連業界の経験を有する指導者による独自の研修システムを整備。OJTや座学による教育訓練のほか、社員から副農場長・農場長の役職を経験してから独立する実践的なキャリアパスを整備。
- ・ 就農希望者の受け入れにあたっては、1～3週間のインターンシップ期間中に多様な観点から人物評価をすることで人材を見極めるとともに、会社の取組内容も理解してもらうことでミスマッチを防ぎ、早期の離職防止に繋げている。
- ・ 毎年、社員は農業経営を含む人生設計書として「パーソナルカルテ」を作成。カルテにより考えが明確化され、面談による就農支援にも活用。
- ・ これらの充実した人材育成体制は、今後の人材育成のシステムの模範として、他の経営体に普及することが期待される。